（仮称）千葉県地域産業成長プラン　原案概要

資料４

第１章　プラン策定の基本的な考え方

策定の趣旨…「成田空港第２の開港プロジェクト」の進展や、圏央道・北千葉道路など広域的な幹線道路ネットワークの充実といった本県飛躍の好機を最大限に生かしながら、海外輸出により外貨を獲得し得る、又は国内市場において上位シェアの獲得を目指す産業クラスターの形成・拡大に取り組むとともに、地域住民の生活を支える産業の発展や地域経済の成長を促すため、本プランを策定する。なお、産業分野については、随時、追加等の更新を図っていく。

プランの期間… 令和８年度（2026年度）～令和１２年度（2030年度）までの５年間

プランの構成… 第２章において本県産業を取り巻く現状・課題を整理した上で、第３章では地域全体としての産業競争力の底上げに向け、重点的に育成すべき産業分野を特定し育成を図るための取組を示すとともに、第４章では地場産業の発展や地域経済の成長に向け、面的に地域経済を支える事業を数多く創出していくための取組を示す。

第２章　本県産業を取り巻く現状・課題

・人口減少や少子高齢化の進行に伴い、地域経済の縮小や各分野における担い手不足など様々な影響が懸念されるため、地域資源の高付加価値化、海外も含めた販路開拓、新たな産業拠点の形成、デジタル技術の活用による生産性向上等に取り組むことが必要。
・経済のグローバル化の進展やＧＸ・ＤＸの加速、循環経済への移行、物価の高騰など社会経済情勢がめまぐるしく変化する中においても、本県産業の活力を高めるため、国内外の情勢に的確に対応しつつ、本県の高いポテンシャルを生かし、県経済を担う産業の成長を強力に後押ししていくことが必要。
・担い手不足への対応や農林漁業者の所得向上等を図るため、雇用就農も含めた新規就農者の確保・定着や、生産力強化・省力化に資するスマート農林水産業、食の多様化に対応したブランディング強化、多様な販売チャネルの開拓等に取り組むことが必要。
・第３滑走路の新設等を含む「成田空港第２の開港プロジェクト」の進展により、「人・モノ・財」の流れの拡大が期待され、この効果を我が国の産業競争力強化と本県経済の活性化につなげていくため、空港を核とした産業拠点の形成に取り組むことが必要。
・圏央道の県内区間全線開通やアクアラインの割引継続、港湾の整備等を通じた物流機能の強化等による広域的な拠点性の向上、慢性的な渋滞の解消などによる「人・モノ・財」の流れの変化を的確に捉え、企業立地の促進等に取り組むことが必要。

第３章　地域産業クラスターの形成・拡大（地域産業クラスター計画）

※都道府県等が主体となり、重点的に育成すべき産業分野を特定し育成を図ることにより、産業クラスターの形成・拡大を図る。

１　航空宇宙分野

○航空宇宙産業（成田空港周辺地域）
・成田空港が有する豊富な航空ネットワークや航空機整備拠点機能を強みとして、成田空港周辺に航空機産業の更なる集積を図るとともに、空港機能や航空分野と親和性の高い宇宙関連産業の集積を図り、航空宇宙産業のクラスター形成を目指す。
・（産業集積に向けて産業用地確保が課題となっており、）成田空港の航空機整備地区に近接し、航空機産業の集積に適している地区（芝山町岩山地区）において、産業用地を直接整備するなどの取組を進める。

２　資源・エネルギー安全保障・ＧＸ分野

○ＳＡＦ・鉄（水素還元製鉄）・液化水素【素材・エネルギー産業】（京葉臨海コンビナート地域） R8.9策定済
・バイオ由来原料による持続可能な航空燃料製造の開発、高炉における直接又は間接の水素還元技術の開発、液化水素供給能力の増強などにより、石油精製業、製鉄業、エネルギー産業におけるグリーン・トランスフォーメーションの取組を推進する。
○洋上風力発電設備【再生エネルギー産業（洋上風力）】（京葉臨海コンビナート地域、銚子市沖など沖合４海域等）
・洋上風力発電の導入を目指す。また、洋上風力発電の導入を地域経済の活性化につなげるため、関連産業の集積を進める。

３　創薬・先端医療・バイオ分野 R8.9策定済

○先端医療技術（千葉・かずさ、柏の葉地域）
・臨床研究中核病院を含む研究機関等との共同研究を進める企業などを集積させることで、先端的な製品等の開発を目指す。
○バイオ製品（千葉・かずさ地域）
・かずさＤＮＡ研究所等との共同研究を進める企業を集積させることで、先端的なバイオ製品等の開発を目指す。

４　ＡＩ・半導体分野

○フォトレジスト樹脂（京葉臨海コンビナート地域）
・先端半導体の省電力化に寄与する材料供給などにより、半導体関連産業におけるグリーン・トランスフォーメーションの取組を推進する。半導体素材となるフォトレジスト樹脂を製造する化学メーカーの技術開発等の支援により、製品の高付加価値を目指す。
○感光材（東総地域ほか）
・ＡＩデータセンター等で活用される半導体や省エネ・低消費電力化のキー・パーツであり電力の制御や変換を行うパワー半導体の製造に不可欠な材料である感光材について、関連産業の集積と県内での半導体の生産基盤の構築を目指す。

５　情報通信分野

○海底直流送電ケーブル・光ファイバー・光ケーブル等（京葉臨海コンビナート地域等）
・再生可能エネルギーの普及やデータセンターの増設に伴い、海底に敷設する高圧直流送電ケーブルや光ファイバーケーブル等の需要が増加しており、こうした需要増に対応するために生産能力を増強し、国際競争力を獲得する。

【参考】【第３章において今後、検討する分野】

マテリアル分野（ヨウ素関連産業）　港湾ロジスティクス分野　MICE分野　防衛産業分野

【第４章（地場産業成長プラン）において今後、検討する分野】 ※今後市町村との調整を経て決定

航空宇宙産業分野　再生可能エネルギー産業等分野　健康・医療ものづくり産業分野　観光産業分野
農林水産業分野　食品関連産業分野　発酵関連産業分野　スポーツ・文化芸術分野

【参考】国の掲げる17の戦略分野
①AI・半導体、②造船、③量子、④合成生物学・バイオ、⑤航空・宇宙、⑥デジタル・サイバーセキュリティ、⑦コンテンツ、⑧フードテック、⑨資源・エネルギー安全保障・GX、⑩防災・国土強靱化、⑪創薬・先端医療、⑫フュージョンエネルギー、⑬マテリアル（重要鉱物・部素材）、⑭港湾ロジスティクス、⑮防衛産業、⑯情報通信、⑰海洋